

平成 28 年 3 月吉日

富山県理学療法士会会員 各位

第 21 回富山県理学療法学会大会

大会長 浦川 将

準備委員長 池田裕哉

第 21 回富山県理学療法学会大会

一般演題募集について(再送信)

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、1 月にも情報配信させていただきましたが、本学会大会の一般演題を以下の要項にて募集しております。申し込締め切りも近づいております。どのようなテーマでも構いませんので、日頃の研究成果や臨床での症例報告、施設での新しい取り組みなどをご応募下さい。発表演題の中から、最優秀賞および優秀賞の表彰を予定しております。地方大会としての位置づけから、全国大会へのステップアップとして、あるいは若手のチャレンジの場としてご活用いただき、富山県理学療法士会を盛り上げていきましょう。多くの施設からのご応募、お待ちしております。

<応募方法>

以下の①～⑤項目を記載・添付の上、応募先の電子メールアドレス宛に送信をお願いします。約 1 週間以内に応募受付メールをご返信いたしますが、返信がない場合はお手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。

①演題名 ②所属（郵便番号・住所・施設名） ③演者名（ふりがな） ④発表形式の希望（口述またはポスター） ⑤word での抄録ファイル添付

<応募先・問い合わせ先>

八尾総合病院 リハビリテーション科 池田 裕哉 宛

E-mail : riha@yatsuo.or.jp

Tel: 076-454-5000 Fax: 076-455-3835

<応募資格>

筆頭演者は、公益社団法人日本理学療法士協会会員で、富山県理学療法士会に所属する会員に限ります。

<演題募集期間>

募集期間は、平成 28 年 1 月 12 日（火）から **4 月 1 日（金）までとします（期間厳守）**。

募集期間を過ぎた場合は一切受け付けません。

<応募上の注意>

1. 応募された演題と当日の発表内容が大幅に変わることをないように留意してください。
2. 筆頭演者として複数演題に応募することは出来ません。
3. 演題申し込みにあたっては共同演者の了解を得た上で応募してください。なお、共同演者も筆頭演者と同等の責任を負うことをご承知ください。

4. 本文中に研究対象者にとって不利となるような属性（人名、施設名等）を記載しないように注意してください。
5. 募集期間中（4月1日まで）の演題内容に関する確認・修正は可能ですが、募集期間終了後の修正は一切できません。
6. 演題採択後の演題の取り消しはできません。
7. 筆頭演者が発表できない場合は、必ず共同演者が発表を行ってください。

<倫理上の注意>

1. ヘルシンキ宣言に沿った研究であることを確認してください。特にプライバシーの侵害や人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記してください。
2. レントゲン撮影や侵襲を伴う研究方法がなされた場合は、抄録中にそれを実際に施行した人の職種を明記してください。なお、上記の項目のほか、演者の所属する倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録中に記載してください。

<発表形式>

発表形式については以下の通りです。応募時に発表形式の希望をお聞きしますが、プログラム編成の都合で希望に沿えない場合があります。ご了承ください。

- ① 口述発表（Power Point で作成したスライド）
 - ・発表時間は7分、質疑応答3分を予定しています。
- ② ポスター発表
 - ・口頭発表・質疑応答時間は演題数によって決定させていただきます。
 - ※演題数が多い場合、口頭発表なしのフリーディスカッション形式となる場合があります。

<抄録作成規定>

本文は、【目的】・【方法】・【倫理的配慮、説明と同意】・【結果】・【考察】の5項目に構造化し、演題登録の際はこの5項目に沿って入力してください。ただし症例発表の場合は、抄録中に【目的】・【患者情報】・【倫理的配慮、説明と同意】・【理学評価】・【介入結果】・【考察】などの小見出し（任意）を付けてください。また、施設での取り組みやリハビリテーションシステムに関する発表などの場合、相応しい小見出し（任意）を付けてください。抄録中に対象者の個人情報（氏名、イニシャル、住所など）を書き入れないように注意してください。本文の文字数は全角換算(半角英数字は2文字を1文字に換算)で1200字以内とします。

<演題審査>

1. 演題の採択は、学術大会準備委員会の演題査読委員会による選考結果を参考に、学術大会長が決定します。
2. 採択された演題の取り消しはできません。
3. 演題の採択結果、ならびに発表形式等の通知は、平成28年4月中旬～下旬を予定しています。

<その他>

- ・演題応募数が多数の場合は、調整させて頂くことがあります。
- ・発表者には、専門理学療法士ならびに認定理学療法士資格取得及び更新に関わる履修ポイントの学会発表等、または新人教育プログラムの症例発表(C-6)の単位が認められます。